

奥能登2市2町へのアクセスルート

1/9 14時00分時点



【通行可能】
県道1号(七尾輪島線)

【通行可能】珠洲道路

【通行可能】
県道6号(宇出津町野線)

【通行可能】
県道7号(穴水門前線)

輪島市役所
門前支所

【通行可能】
国道249号

○国道249号は、余震による新たな被災への対策を含め、**対面通行確保のための緊急復旧**を国と県とで連携して実施

○引き続き、渋滞状況を見ながら、路面段差の解消など、**交通の更なる円滑化に向けた対策**を実施

国道249号 主な被災箇所
(大津交差点～穴水町役場付近)



①小牧 地割れ

近傍の迂回路2本(大型車用、普通車用)を活用して、相互通行を確保



②笠師 倒木

近傍の迂回路を活用して、相互通行を確保

1/7(日) 8時～交通規制
(一般車両通行規制)

1/10(水) 10時～
通行可能(予定)

○七尾市(徳田大津)からの所要時間

| | | |
|-----------------------|------------|----------|
| 1/6(7時台発): 穴水町 約2時間 | 輪島市 約5時間 | 珠洲市 約5時間 |
| 1/7(8時台発): 穴水町 約1時間 | 輪島市 約3時間 | 珠洲市 約4時間 |
| 1/8(8時台発): 穴水町 約1.5時間 | 輪島市 約3時間 | 珠洲市 約4時間 |
| 1/9(8時台発): 穴水町 約1時間 | 輪島市 約2.5時間 | 珠洲市 約3時間 |

※1/8は前夜の降雪の影響あり

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月10日(水)
7時00分時点

- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に6方向で沿岸部へ通路を確保

緊急復旧の進捗率

| | 1/7 7時 | 現在 |
|------------------|-----------|-----|
| 半島内の 主要な幹線道路 | 約6割 ⇒ | 約8割 |
| うち国道249号 沿岸部※ | 約2割 ⇒ | 約5割 |
| 沿岸部への到達 | 5箇所 ⇒ | 6箇所 |

※輪島市門前町～珠洲市役所

孤立地区数の推移

| | |
|---------|------|
| 1月5日8時 | 33地区 |
| 1月9日16時 | 22地区 |

※内閣府防災資料より
※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報

写真①



県道38号被害状況

写真②



国道249号作業状況

写真④



国道249号法面崩落

写真⑤



国道249号大谷ループ橋

写真⑥



国道249号大谷トンネル



国道249号における陸海空からの緊急復旧(自衛隊との連携)

令和6年1月10日(水)
7時00時点

- 孤立集落の解消にむけ、**自衛隊と連携し、内陸からにくわえて空・海側から、くしの歯状の緊急復旧**を順次実施
- あわせて国道249号の被災箇所について、**本復旧にむけた現地調査に着手**

✖ : 被災規模 大



⊗ : 被災規模 小~中程度

自衛隊と連携し、**空・海から人員・資機材を搬入し**、陸路から到達困難な箇所では、**緊急復旧を推進**

○1/11より※1、TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)が**空からヘリで着陸し**、道の駅を拠点として**現地調査を開始予定**

○調査結果をふまえ、**重機をヘリや船で運搬※2し**、**現地で緊急復旧を推進**

※1:1/9の出発は、悪天候によりヘリ飛行中止

※2: 具体の運搬場所や方法等には、防衛省と調整中



ヘリの着陸拠点となる道の駅
(千枚田ポケットパーク)



重機をヘリで運搬
(熊本地震の事例)

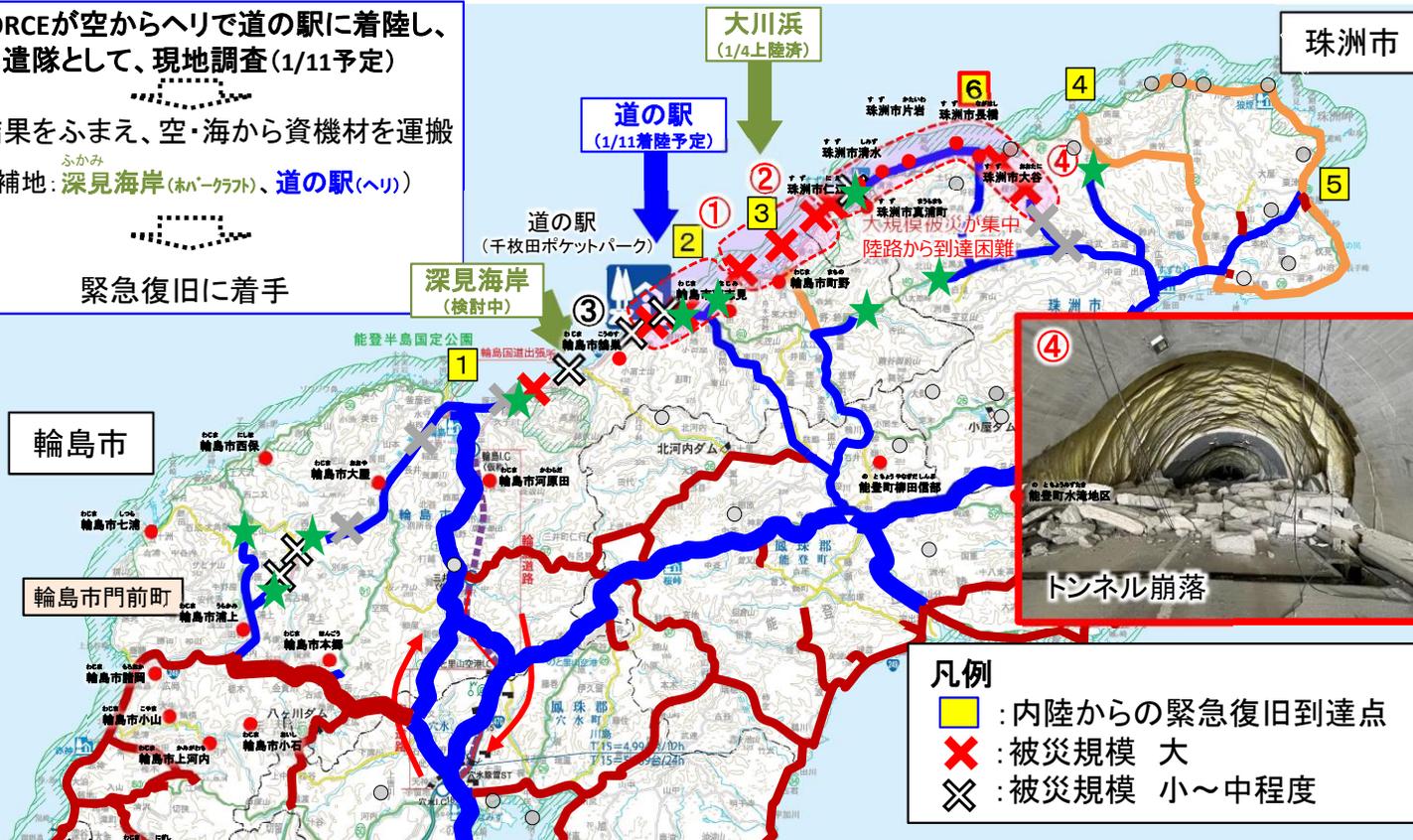


重機を自衛隊の船で運搬
(NHK報道より写真を転記)

TEC-FORCEが空からヘリで道の駅に着陸し、先遣隊として、**現地調査(1/11予定)**

調査結果をふまえ、空・海から資機材を運搬
(候補地: **深見海岸**(ホバークラフト)、**道の駅**(ヘリ))

緊急復旧に着手



- 凡例
- : 内陸からの緊急復旧到達点
 - ✖ : 被災規模 大
 - ⊗ : 被災規模 小~中程度

令和6年能登半島地震に伴う河川・海岸の対応状況等について

令和6年1月10日 4:30時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所では堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川（しなのがわ）水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川のうち、103水系523河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する52水系86河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中。石川県管理の河原田川（かわらだがわ）水系河原田川、山田川（やまだがわ）水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川についてはTEC-FORCEによる現地調査を実施、応急対策の準備中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷が確認されたため、応急対策を実施中。また、現地調査に先立ち、専門家（国総研）により、計測データやダム管理者が撮影した画像等を基に応急対応を指導中。
- 海岸では、全国の点検対象128海岸のうち、石川県の7海岸を除く121海岸で点検完了。うち石川県管理の宝立正院（ほうりゅうしょういん）、富来（とぎ）、穴水（あなみず）、根上（ねあがり）、門前（もんぜん）の5海岸において、堤防護岸の損壊等を確認。応急対策の実施方法について検討中。

河川の被害状況: 国管理 県管理
 ダムの被害状況: 県管理
 海岸の被害状況: 県管理

<石川県管理河川>
 36水系64河川

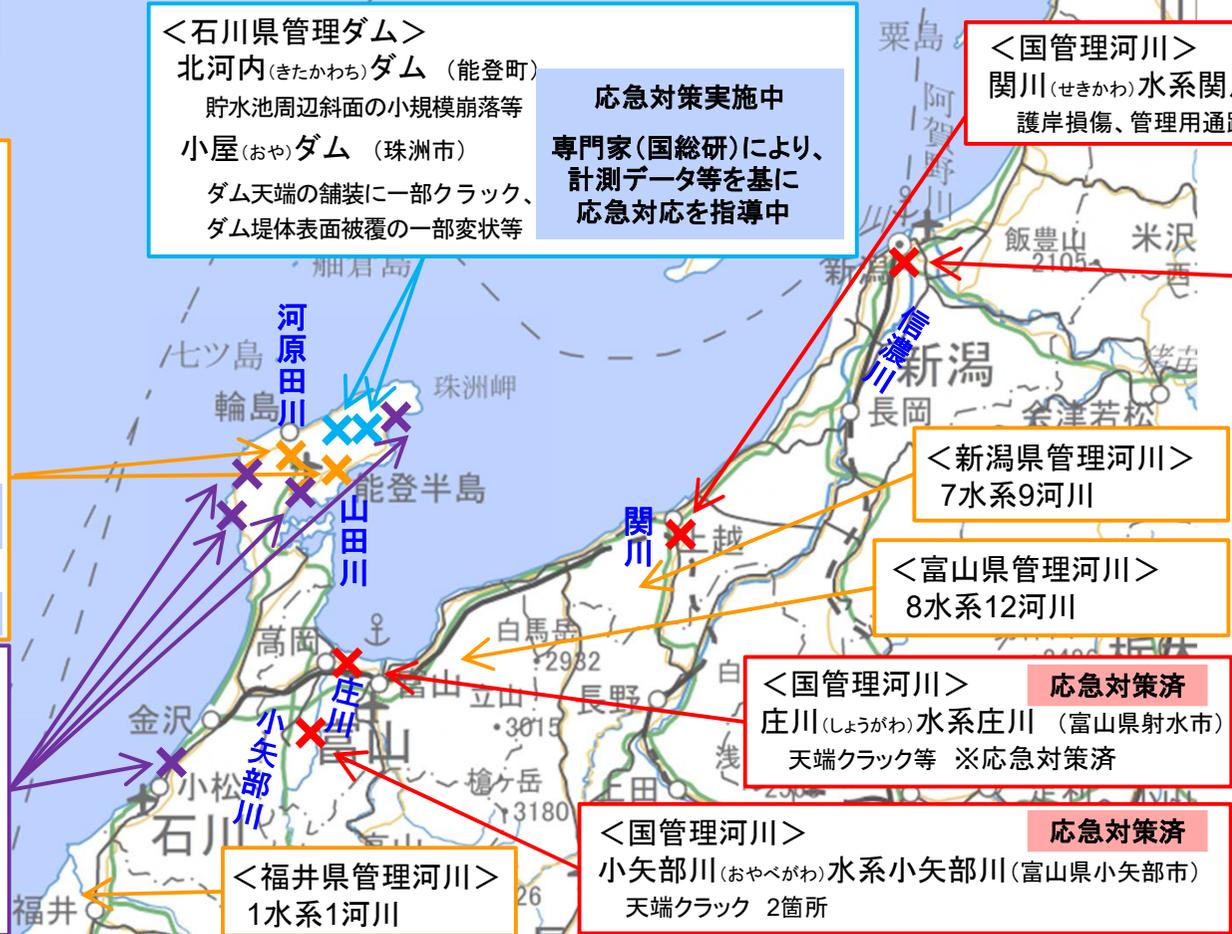



河原田川（かわらだがわ）水系河原田川（輪島市）
 河道埋塞 **TEC-FORCE 現地調査を実施 応急対策の準備中**

山田川（やまだがわ）水系山田川（能登町）
 河道埋塞 **流路確保工事中**

<石川県管理海岸>
 5海岸 堤防護岸の損壊等 **応急対策の実施方法を検討中**



<国管理河川> **応急対策済**
 関川（せきかわ）水系関川（新潟県上越市）
 護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所

<新潟県管理河川>
 7水系9河川

<富山県管理河川>
 8水系12河川

<国管理河川> **応急対策済**
 庄川（しょうがわ）水系庄川（富山県射水市）
 天端クラック等 ※応急対策済

<国管理河川> **応急対策済**
 小矢部川（おやべがわ）水系小矢部川（富山県小矢部市）
 天端クラック 2箇所



<国管理河川> **応急対策済**
 信濃川（しなのがわ）水系信濃川（新潟県新潟市、長岡市）
 堤防沈下、天端クラック等 10箇所 **応急対策済**

令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

59件※1

【被害状況】
 人的被害：死者：25名
 負傷者：2名
 家屋被害：全壊：11戸
 半壊：1戸
 一部損壊：2戸
 (いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ)

| | |
|-----|-----|
| 石川県 | 37件 |
| 新潟県 | 12件 |
| 富山県 | 10件 |

※1: 都道府県から土砂災害発生箇所として報告された件数

わじまし くまのまち ①石川県輪島市熊野町



わじまし いちのせまち ②石川県輪島市市ノ瀬町



すずし にえまち ③石川県珠洲市仁江町 【道の駅すず塩田村の西側】



死者：9名
負傷者：2名



ほうすぐんあなみずましかわじま ④石川県鳳珠郡穴水町川島



死者：16名



※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

令和6年能登半島地震に伴う下水道施設の被害状況(石川県)

令和6年1月10日
5:30時点
国土交通省



▲日本下水道事業団による調査の状況

【凡例】

下水処理場

- 稼働停止(流入汚水なし) 6箇所
- 機能確保済
- 被害なし

ポンプ場

- 稼働停止(流入汚水なし) 4箇所

1月7日～ 日本下水道事業団により支援中

令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

A のと鉄道 七尾線(33.1km)

○運休区間： 七尾駅～穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表)

1月9日より現地調査実施(合計12名)

・鉄道局(TEC-FORCE) 2名、北陸信越運輸局(TEC-FORCE) 3名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名

B JR西日本 七尾線(59.5km)

○運休区間： 高松駅～和倉温泉駅間 高松駅～羽咋駅間は、運転再開には少なくとも2週間以上かかる見込み。

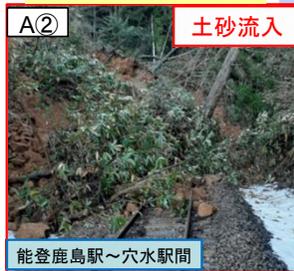
(45.1km)

羽咋駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 JR西日本より発表)

○1月3日以降に再開した路線

- ・JR西日本 七尾線(津幡駅～高松駅間) (3日8時50分頃)
- ・富山地方鉄道 立山線(岩峠寺駅～立山駅間) (3日9時50分頃)
- ・あいの風とやま鉄道(倶利伽羅駅～高岡駅間) (3日12時00分頃)
- ・IRいしかわ鉄道(津幡駅～倶利伽羅駅間) (3日12時20分頃)
- ・JR西日本 高山線(猪谷駅～越中八尾駅間) (3日18時30分頃)
- ・北陸鉄道 浅野川線(全線) (4日始発から)
- ・JR西日本 水見線(高岡駅～水見駅間) (6日始発から)
- ・JR東日本 越後線(越後赤塚駅～関屋駅間) (6日13時頃)
- ・JR西日本 大系線(南小谷駅～糸魚川駅間) (6日14時40分頃)

【のと鉄道】



※各写真はのと鉄道提供

TEC-FORCE、RAIL-FORCEによる被災状況調査



【JR七尾線】

— : 運休区間



※各写真はJR西日本提供

令和6年能登半島地震による能登地域港湾の利用可否状況

- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- 支援物資輸送の中核となる水深4.5m以深の16岸壁のうち、9岸壁が利用可能であることを確認(条件付きで利用可能なものを含む)。(その他、小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、23施設が利用可能(条件付きで利用可能なものを含む))
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、利用可能施設の利便性向上のための応急復旧作業を進める。

輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】

- 岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。
→アクセス経路の拡幅を予定。当面、応急復旧したアクセス経路で物資を搬送。
- 地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、水深6mの岸壁として運用。



自衛隊車両の利用状況(5日) 応急復旧の概成状況

小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

5岸壁中4岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁 × 4

【主な利用条件と対応状況】

- 一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。
→応急復旧を準備中。

水深5.0m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要

飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

2岸壁中1岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁



完了した応急復旧(9日)

【主な利用条件と対応状況】

- 航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。
→沈没船撤去等の準備中。当面、注意して航行してもらうことで対応。
- アクセス経路にうねりが生じている。
→応急復旧を実施し、9日に作業完了。

水深5.5m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要

穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

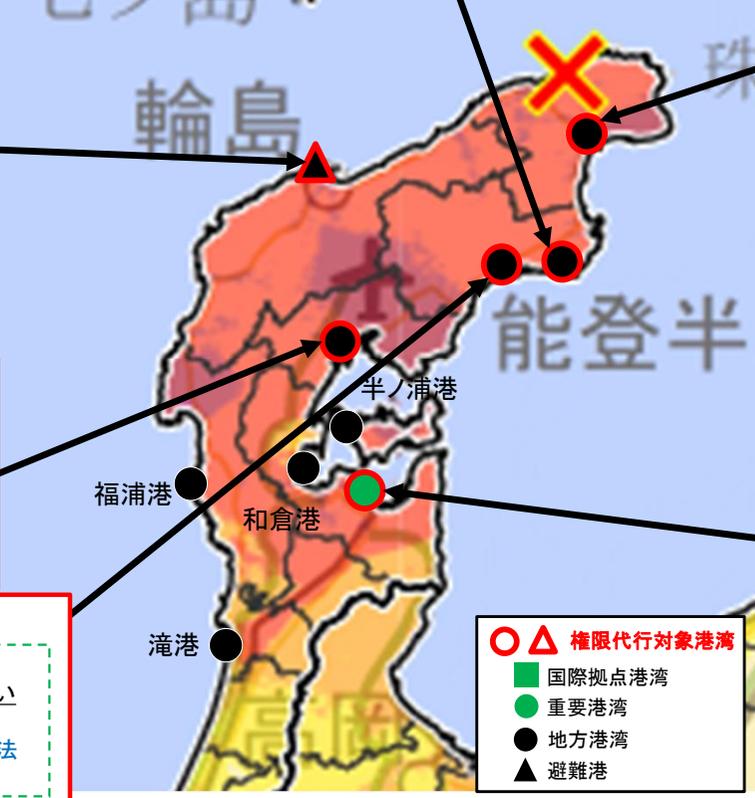
【主な利用条件と対応状況】

- 強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。
→回復には抜本的な復旧工が必要。当面、注意して運用する。

宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

【主な利用条件と対応状況】

- 岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができないものがある。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。



七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

8岸壁中3岸壁が利用可能

水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- 液化化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。
→応急復旧を準備中。当面、走行できない区域を避けて物資を搬送。

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- 岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

その他の5岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要



海翔丸の支援物資の積卸し(5日;水深7.5m岸壁)

国土交通省職員の対応状況

総数【493名】
リエゾン 42名
JETT 7名
被災状況調査班等 444名

石川県内(能登半島)【3名】
 被災状況調査班(CAR-SAT) 北陸地整 2名
 被災状況調査班(CAR-SAT) 中部地整 1名



※派遣先調整中【14名】

| | |
|------------------|---------|
| 高度技術指導班(水道) | 関東地整 4名 |
| 高度技術指導班(水道) | 近畿地整 2名 |
| 高度技術指導班(港湾) | 港空研 2名 |
| 現地支援班(電源確保) | 関東地整 5名 |
| 被災状況調査班(応急危険度判定) | 近畿地整 3名 |

志賀町【28名】

| | |
|-------------|----------|
| リエゾン | 北陸地整 1名 |
| リエゾン | 北信運輸 1名 |
| 被災状況調査班(道路) | 関東地整 20名 |
| 被災状況調査班(河川) | 北陸地整 4名 |
| 高度技術指導班(水道) | 中国地整 2名 |



現地対策本部【20名】

| | |
|-------------|--------|
| 本部員(リエゾン併任) | 本省 15名 |
| 本部員(JETT併任) | 気象庁 5名 |

石川県庁【21名】

| | |
|-------------|----------|
| リエゾン | 北陸地整 6名 |
| リエゾン | 国土地理院 2名 |
| JETT | 気象庁 2名 |
| 高度技術指導班(住宅) | 本省 1名 |
| 高度技術指導班(都市) | 本省 1名 |
| 高度技術指導班(水道) | 北海開発 2名 |
| 高度技術指導班(下水) | 国総研 1名 |
| 高度技術指導班(空港) | 大阪航空局 2名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 北陸地整 4名 |

輪島市【110名】

| | |
|-------------|----------|
| リエゾン | 北陸地整 2名 |
| 応急対策班(道路啓開) | 北陸地整 8名 |
| 被災状況調査班(道路) | 中国地整 21名 |
| 被災状況調査班(道路) | 九州地整 25名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 関東地整 12名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 北陸地整 4名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 中部地整 4名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 近畿地整 20名 |
| 被災状況調査班(河川) | 北陸地整 6名 |
| 被災状況調査班(港湾) | 北陸地整 3名 |
| 高度技術指導班(水道) | 東北地整 2名 |
| 高度技術指導班(道路) | 九州地整 1名 |
| 高度技術指導班(空港) | 国総研 2名 |



輪島市



珠洲市



能登町【45名】

| | |
|-------------|----------|
| リエゾン | 北陸地整 1名 |
| リエゾン | 北信運輸 1名 |
| 応急対策班(道路啓開) | 北陸地整 2名 |
| 被災状況調査班(道路) | 中国地整 4名 |
| 被災状況調査班(河川) | 北陸地整 4名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 北陸地整 12名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 中国地整 12名 |
| 現地支援班(応急給水) | 東北地整 4名 |
| 高度技術指導班(水道) | 四国地整 2名 |
| 高度技術指導班(港湾) | 港空研 1名 |



穴水町【51名】

| | |
|------------------|----------|
| リエゾン | 北陸地整 1名 |
| 被災状況調査班(道路) | 東北地整 24名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 関東地整 4名 |
| 被災状況調査班(砂防) | 中部地整 4名 |
| 被災状況調査班(河川) | 北陸地整 4名 |
| 被災状況調査班(応急危険度判定) | 関東地整 6名 |
| 被災状況調査班(応急危険度判定) | 北陸地整 3名 |
| 被災状況調査班(鉄道) | 本省 2名 |
| 被災状況調査班(鉄道) | 北信運輸 3名 |



飲料水支援(七尾市)

被災状況調査(七尾市)

中能登町【7名】

| | |
|-------------|---------|
| リエゾン | 北陸地整 1名 |
| 被災状況調査班(河川) | 北陸地整 4名 |
| 給水支援班(応急給水) | 近畿地整 2名 |

氷見市【4名】

| | |
|-------------|---------|
| 被災状況調査班(道路) | 中部地整 4名 |
|-------------|---------|

高岡市【4名】

| | |
|-------------|---------|
| リエゾン | 北陸地整 2名 |
| 高度技術指導班(都市) | 本省 2名 |

富山市【6名】

| | |
|-------------|---------|
| 広報班 | 関東地整 2名 |
| 現地支援班(応急給水) | 中国地整 2名 |
| 現地支援班(電源確保) | 中国地整 2名 |

新潟県庁【1名】

| | |
|------|---------|
| リエゾン | 北陸地整 1名 |
|------|---------|

北陸地方整備局【27名】

| | |
|-----|---------|
| 先遣班 | 東北地整 6名 |
| 先遣班 | 関東地整 6名 |
| 先遣班 | 中部地整 4名 |
| 先遣班 | 近畿地整 3名 |
| 先遣班 | 中国地整 4名 |
| 先遣班 | 九州地整 3名 |
| 先遣班 | 国総研 1名 |

内灘町【4名】

| | |
|-------------|---------|
| 被災状況調査班(道路) | 中部地整 4名 |
|-------------|---------|

金沢市【12名】

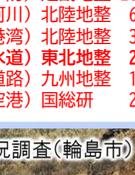
| | |
|-------------|---------|
| 現地支援班(応急給水) | 中部地整 2名 |
| 応急対策班(照明) | 関東地整 2名 |
| 応急対策班(照明) | 中部地整 2名 |
| 応急対策班(道路啓開) | 北陸地整 1名 |
| 被災状況調査班(道路) | 中部地整 3名 |
| 被災状況調査班(港湾) | 中部地整 2名 |

富山市【6名】

| | |
|-------------|---------|
| 広報班 | 関東地整 2名 |
| 現地支援班(応急給水) | 中国地整 2名 |
| 現地支援班(電源確保) | 中国地整 2名 |

内灘町

金沢市



国土交通省の資機材の活動状況 (能登半島)

総数 (能登以外の派遣、派遣移動中も含む)

災害対策機械等 100台
(うち、照明車 (電源確保) 6台)

輪島市
 照明車【1/2~ (稼働中)】
 対策本部車【1/6~ (稼働中)】
 待機支援車【1/6~ (稼働中)】
 衛星通信車【1/3~ (稼働中)】
 Ku-sat【1/4~ (活動中)】
 照明車 (電源確保)【1/7~ (稼働中)】4台
 海保回転翼機 (物資・人員輸送)【1/2,5】

照明車 (電源確保) 輪島市 諸岡公民館
(家電製品 (スマートフォン) に電力供給)



照明車 輪島市 夜間照明



衛星通信車 穴水町役場



散水車 (給水機能付) 中能登町ほか



輪島港
巡視船 (人員・物資輸送、給水支援)【1/2~5】

能登町
 照明車【1/3~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/6~ (稼働中)】
 Ku-sat【1/4~ (活動中)】
 測量船 (小木港・宇出津港 港内調査)【1/7】

穴水町
 衛星通信車【1/4~ (活動中)】
 Ku-sat【1/5~ (稼働中)】
 照明車【1/4~1/7 (稼働終了)】

能登島
巡視艇 (人員輸送)【1/2】

七尾港
大型浚渫兼油回収船「海翔丸」 九州地整 1隻【1/5】
巡視船 (物資輸送、給水支援)【1/3~】

七尾市
 照明車【1/2~ (待機中)】
 排水ポンプ車【1/3~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/6 (稼働終了)】
 Ku-sat【1/5~ (活動中)】
 モバイルトラカン (交通流の把握)【1/5~】

中能登町
 散水車 (給水機能付)【1/3~ (稼働中)】
 照明車【1/5 (稼働終了)】

羽咋市
照明車【1/4~ (待機中)】

氷見市
 散水車 (給水機能付)【1/2~ (稼働中)】

かほく市
散水車 (給水機能付)【1/2~1/6 (稼働終了)】

照明車 (電源支援) 珠州市避難所



対策本部車 珠州市役所 (稼働中)



上越市
 照明車【1/3~ (稼働中)】
 バックホウ【1/4~ (待機中)】



Ku-sat (渋滞監視) 七尾市



富山市
 バックホウ【1/3~ (待機中)】
 照明車【1/5~ (待機中)】
 Ku-sat可搬【1/5~ (待機中)】
 待機支援車【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/5 (稼働終了)】

金沢市
 照明車【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/7 (稼働終了)】

金沢港